

12月 「一緒に」をキーワードに20分間お願いします

今年は「令和」時代へと元号の変わる節目の年でした。天皇家では、多くの人に見守られしきたりに即して即位に関する儀式や行幸等が行われています。ローマ法王による2度目となる歴史的な訪日など心温まるニュースが多い中、11月23日(土)、大阪で行方不明となっていた小6の児童が栃木県で保護されたというニュースが流れ、ほっとしたのもつかの間、その家には、6月から茨城で行方不明となっていた中3の女子と一緒にいたという報道に驚きました。28日(木)にはさらに驚くニュースが…兵庫県の中3の女子を、2か月間埼玉の自宅で生活させたとして誘拐の疑いで男が逮捕されました。と…。

皆さんも耳を疑われたことでしょうか。我が家は大丈夫。ほとんどの家庭はそう思われたに違いありません。そしてこの事件で、忍び寄る**SNSの怖さ**を痛感されたと思います。しかし、現実には、私たちの頃と違い、今の子供たちはSNSの環境が整った中で生まれ、成長してきたのです。恐らく大部分の子供たちの方が、親よりもスマホを使いこなせ、親のチェックをかいくぐれているのではないのでしょうか。このニュースで、すべての保護者の皆様に、**子供と話す時間をもっともっと確保しなければ**と願っていただきたいです。

子供との時間ということになれば、子供たちが幼い頃、寝る前、本の読み聞かせをしていた頃のことを思い出します。一生懸命本を読んでいて、いつの間にかすやすやと眠ってしまっていることに気づき幸せそうな寝顔を見ていたり、話を覚えてしまっていたことに感動したり、もっともっととせがまれ、瞳を輝かせた顔をみるために、どんなに忙しくても、時間を確保できていたと思います。小学校時代まででしたか。あの頃、読み聞かせだけでなくいろんな会話をしていたのではないのでしょうか。

今、話を聞いてあげる時間が一日にどれくらいあるのでしょうか。

子供たちは元来、おしゃべりです。中学校生活で毎日、新しい経験、体験、勉強をしてくるわけですから、それを話したくてたまらないはず。反抗期でどんな態度をとっていても、いろいろ聴いてほしいのです。

年末には大掃除をしたり、大晦日などに家族で過ごす時間が多いと思います。その合間に、今から20分は話すぞ！と心に留め置いて、話す時間を持って下さい。「聴いてあげる」「分かってあげる」のではなく、**同じ目線でゆったりと話をして下さい**。わが子の予想外の成長を発見できると思います。お風呂と一緒にでも、こたつ布団で横になってでも、おせちを作りながらでも、テーブルでお茶を飲みながらでも、何かをしながらでいいです。

たったの20分でいいので…。

この年末、「一緒に」をキーワードにお願いします。